

「シーパspark」について（泉大津市）

- 1 市民会館廃止は、耐震性の観点などの理由で廃止し、屋外イベントは可能なものは半屋外広場を使い、屋内向けは体育館で実施しているとの事である。

今後の人口減少を見据えての計画と、

将来の自動車交通量の減少予測から都市計画決定の廃止を含め、津波浸水想定区域よりの消防本部の移転も実行

避難所については、南海地震津波は9時間後であることから、水平避難で対応すると

- 2 パークについて、都市公園で対応しなかったのは、都市公園は制約があり、利用計画に制約があるためとの事であり、公園接続の公共用地利用（民間活用地）は、泉大津発の新たな価値の創出として、一部売却済みで経費の削減に使われると（学ぶ点が多い）
- 3 管理は指定管理体制で、「利益還元」を取り入れた運営である。
収入利益から、還元金1%、1%のうち90%を、公園施設に還元（再投資）することに、椅子、防犯カメラ等の設置にされているとの事である。（これも学べき事）
- 4 設計費7千万円、工事費10億千万円、ワークショップ3千万円
- 5 図書館シーブラ
平面施設で利用が楽、授乳室、食事スペース完備、デジタル検索が可能、商業施設の活用か

「みんなの学校プロジェクト」天理市

- 1 学校の統廃合は20年間していないとの説明。小学校9校、中学校4校
- 2 小中校の生徒数による、規模規定で決定したものもないし、考えもないとの事である
- 3 公共施設についても、複合化・集約化されたものもないとの事である
文教施設、文教施設以外で
- 4 学校3部制は、閉ざされた校内から、信頼できる地域の大人のめに守られる校内へとの取り組みから地域公民館、市民参加の運営、参加型への実施が進行して、結果的に成功していると地域連携学校として活動している
- 5 生徒への体験格差対策への取り組み、効果もあること